

愛知県の養豚農家で 豚コレラ(国内23例目)の疑似患畜 が確認されました

<発生施設の概要>

所在地:愛知県田原市 飼育頭数:2,940頭

<経緯>

愛知県は、5月16日(木)、国内21例目の搬出制限区域内にある田原市の養豚農場において豚コレラの清浄性確認検査を行うため立入検査を行い、1農場で精密検査を実施したところ、本日(5月17日(金))、豚コレラの疑似患畜であることを確認しました。

- 当該農場に隣接し堆肥舎等を共同使用している関連農場(飼養頭数1,298頭)の飼養豚も疑似患畜とし、防疫措置を講じます。

生産者、畜産関係者の皆様には、
以下の対策の徹底を改めてお願いします。

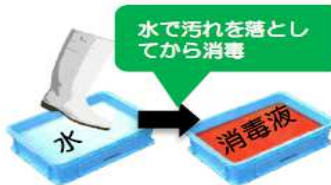
- 1) 消毒による人・車両等を介した**ウイルスの侵入防止対策**
- 2) 飼養衛生管理区域**専用の服及び長靴の着用**
- 3) 野生動物との接触防止等、**飼養衛生管理基準の遵守**
- 4) 飼養豚の毎日の健康観察による**早期発見・早期通報**

異常を見つけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで
電話:055-262-3166 FAX:055-262-3108
夜間・土日・休日の連絡先:090-5535-8005
土日・休日の連絡先:090-5544-7868

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場に出入りする際には、
消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む
可能性がある場合は、
十分に加熱処理

異状を発見したら直ちに通報しましょう!

豚コレラ

2018年9月
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等



うずくまり



豚房の隅に集まるパイルアップ



目やに

写真出典: 国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

【豚コレラの特定疾患】

○耳翼、下腹部、四肢等に紫斑がある。

○同一の畜舎内において、次のいずれかの症状を示す豚等が増加する。

- ・ 摂氏40度以上の発熱、元気消失、食欲減退
- ・ 便秘、下痢
- ・ 結膜炎(目やに)
- ・ 歩行困難、後躯麻痺、けいれん
- ・ 削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)
- ・ 流死産等の異常産の発生
- ・ 血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑
天然孔からの出血、血便

豚に異状が確認された場合には、速やかに家畜保健衛生所に通報をお願いいたします。